

4月24日(日)

13:00 開場 / 13:30~15:30

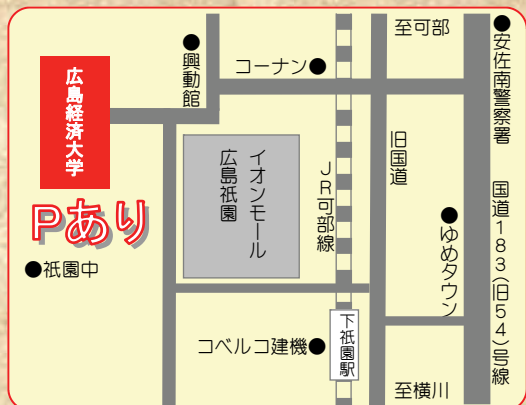
プログラム

- ・ 13:00 開場
- ・ 13:30 雅楽の演奏 長束神社「雅友会」  
安佐南区の長束神社の「雅友会」が「竜笛」「箏」「鳳笙」の三管による雅楽の演奏を披露します。
- ・ 14:00 講演「安芸武田氏の盛衰 350年」
- ・ 15:30 終了

参加費 500円 事前の申し込みは不要です

広島経済大学 6号館

広島市安佐南区祇園五丁目37番1号



当日会場で、河村先生の著書「安芸武田氏」を限定30部販売します。

武田氏は、鎌倉時代の初め、初代安芸国守護に任命されて以来、天文十年（一五四一）大内氏に滅ぼされるまで、三五〇年にわたって安芸国の政治に大きく関わってきました。その間、鎌倉時代の守護在職は断続的でしたし、南北朝時代末期からは、守護権を安芸国の一部に限定され、さらに室町時代には惣領家が新しく守護職を得た若狭国を本拠にしたこともあって、安芸国では戦国大名としての権力を確立することなく滅び去りました。しかし、挾城武田山周辺の太田川下流域を中心に、安芸国中枢部を、鎌倉時代から戦国時代まで支配し続けた武田氏の歩みは、中世安芸の政治史に重要な位置を占めます。この武田氏の盛衰を、複雑な安芸国の政治情勢を交えて跡づけます。

＜講師紹介＞

1948年、福井県生まれ。広島大学文学部卒業、広島大学大学院文学研究科博士課程修了。広島文教女子大学助教授を経て、現在、兵庫教育大学大学院教授。

（武田氏関係論著）

『広島県史』中世（1984年）、『福井県史』通史編2（1994年）、『千代田町史』通史編上（2002年）（以上共著）、「明応期の武田氏と大内氏」（『芸備地方史研究』144、1983年）、『戦国大名の貴地安堵について』（『兵庫教育大学研究紀要』5、1985年）

講師 兵庫教育大学 大学院教授 河村 昭一 先生

安芸武田氏の盛衰 三百五十年

主催：プロジェクト武田山 会長：根平 邦人（広島経済大学 名誉教授）

後援：財団法人広島市文化財団 中国新聞社 NHK広島放送局 祇園町商工会 広島経済大学 祇園公民館 祇園西公民館

プロジェクト武田山は、中世に築かれた金山城の史跡が残る武田山を、市民にもっと親しまれる山にしようと、里山整備活動をはじめ、フォーラムやイベント活動を行っているボランティア団体です。

連絡先：プロジェクト武田山 事務局（祇園町商工会内）Tel082-875-3476



たけちやちや  
武田山のお宝伝説から生まれた  
たお殿様キャラクター